

週寫
報眞

情報局編輯

第六百七十四號 六月二日





畏くも
 皇后陛下には決戦下の民草に
 深き御慈しみを垂れさせられ
 親しく戦時下に於ける國民總努力の
 真相を御視察あらせ給ふ
 街に職場に つぶさに御目をそ、が
 せ給ふ至仁至慈の御徳の辱けなさ
 今日 戦ひはまさに決戦の時にあり
 銃後婦人の挺身活躍に俟つもの多し
 惠澤彌が上に浴きこの光榮に
 誓つて國民皆働の實を上げ
 御懿徳に應へ奉らう

皇后陛下 帝都
 四箇所に行啓
 決戦下銃後女性
 敢闘の姿を親し
 く御覽遊ばさる

畏くも 皇后陛下には五月十九日、
 東京市特別衛生地区保健館、財団法人
 東京府授産協同豊島授産場、東京第一
 陸軍造兵廠、凸版印刷株式会社板橋工
 場の四箇所へ行啓あらせられました
 この度の御巡視は、決戦下必勝の意
 氣に燃えて日夜孜々として増産に精進
 する産業戦士、勤勞奉仕に敢闘する報
 國隊の活動状況、防空に挺身する隣組
 防空群の訓練や、育児、保健、授産施設
 等に活動する銃後女性の眞の姿を御視
 察、御激勵の御趣旨と洩れ承ります。尊
 き御姿を咫尺の間に拜しました人々は
 もとより、それに續く一億の民草たる
 われら、この有難き思召に恐懼感激、
 なほ一層御奉公をお誓ひ申し上げます
 なりません

皇后陛下豊島授産場に行啓

講稿 宮内省



御覧は二十日相良町婦人の海産採取を御覧遊ばされる秩父宮妃殿下

畏くも秩父宮妃殿下の御覧を賜はつた静岡縣下の婦人たちは有難い思召に感激しておますが、本誌は宮妃殿下御視察の光榮に浴した各地の中から、漁村の代表として御前崎村を、農村の代表として櫻木村を選び、兩村婦人日頃の敢闘ぶりをあるがまゝに記録してみました。

この村の婦人たちが、漁をする以外の何もかももの仕事を女子一つに引受けてやりとけてきたのは、もうすでに何十年來のことです。七百戸の全村あけての純漁村であつて、働き盛りの男は揃つて近海或ひは遠洋へ、日の丸押し立てて漁にゆく。村に残つてゐるのは女と子供と年寄しかない。育児、家事は勿論のこと、漁具の整備、魚の運搬、品仕事その他一切の陸の仕事は女でやつてもらひたい、といはれる前に、女の方で一切合財ひきうけたのでした。男はたから安心して、命を的の漁に出かけてゆけるのでした。

「戦争は漁船の数を減らしました。しかし、漁船を下りた若い男は、今度は軍艦に乗り、輸送船に乗組んで戦場へ征きました。私たちは笑つて男子を送りました。ヤンキー共をやつつけて下さい、私には心配しないで、私には昔から鍛へてきた働く腕があります、意氣があります」

秩父宮妃殿下御視察の光榮に奮ひ立つ女性たち

静岡縣御前崎村

濃に上つた霧、船等は大海のときは何千貫といふ大山を築く、これを運ぶのは皆、女の仕事です。今日は晴化氣味で、船は夜になつてやつと歸つてきたのでした。

畏くも 皇后陛下には、決戦下雄々しく、銃後に戦ふ婦人の上を思召され、五月十九日には、東京市内四箇所に行啓あらせられました。各宮妃殿下におかせられても、この度 皇后陛下の御内旨を奉ぜられて、全国各地を御視察遊ばされることになり、秩父宮妃殿下には、五月二十日から四日間わたつて静岡縣下十八箇所を御巡歴、縣下婦人の戦ふ姿を親しく御覧遊ばされ、有難い御激謝の御言葉賜はつたのであります。

本當に誇りを以て贈つた言葉はこれでした。と村の婦人たちは父々から語るののでした。



働く女への訓練は早くも國民學校から行はれます。漁船と取り交すべき手旗訓練は、今日も女子青年團員の指導ではじめられました。



「全国でも珍らしい女ばかりの警防團が、もう既に十年來、村をがっちりと護つてゐます。消防、救護、防空、いづれも男にまさる働きぶりです。必要事項の傳達、必需物資の配給、貯蓄等、農組が普通うけもつ仕事のほかに、こゝでは各農組で納税組合を作り、日婦會員が集金を引受けてゐます」



秩父宮妃殿下 御視察の榮光に奮立つる女性たち

村木櫻縣岡靜



「今年こそ苦勞さん、精が出ますね。村長さんは娘たちに挨拶しました。村の娘は、地元の茶摘み隊中です。この村でも百町歩の茶畑が、年六十万坪を年々出さうです。」とのどっこい、女の方の活動ぶりを見て載けておくれませんか。これは、別に自慢する程のものは何もありませんが、それは只今手をつけておられます、をこぼれにいらせうか。と氣さく、自転車で走ると、初夏の野道を走り出しました。あちの田圃、こちらの茶畑から寄せられる村人の挨拶に「やあ、ご苦勞さん」と返禮を笑顔と一緒につけ返しながら、村長さんは村の婦人たちの健氣な働き方をボツ／＼と次のやうに話りました。

「一期工事に成功した乾拓工事です。この村の田地四百五十町歩のうち、百五十町歩は灌漑の地下水のためひどい濕田で、收穫が昔から少いのです。一粒でも多く種にやらないと、この際です、増産のために、村では思ひ切つて濕田の乾拓を志したのでした。人手のないう折、村としては大事業です。ところが、この大事業を喜んで引受けてくれたのは村の女子青年でした。村長として嬉しかつたですね。この二月から鎌を振り、

「一尋高下は元々比較的恵まれたところたもので、から、男子の十分あつた頃は、この邊の女も今ほどには働かなくなりました。働く必要もなかつたわけです。しかし今は違ひます。草も飯も一生懸命です。名物の茶摘みは勿論のこと、共同炊事も、共同保育も、野良仕事も、加工作業も、婦人たちがしつかり引受けておられます。」

「女の手での子育て、二年來つくりふたさうです。どうです、一細きはきも中々です。」



「一期工事に成功した乾拓工事。灌漑もはじまられておる。身付度中更さく、今日出動した女子青年隊員も、仕事終つて、お茶をすすんでおられます。」



陸軍系下部隊がバレンパンにたてた依頼の陰には、夜を日について製作にあたった乙女たちの努力があった。感謝状をかこんで。



「今日はわたしがお母さん教育を、兵隊さんのご苦勞を想へば、決してつらいと思ふことはありません」座談会では率直な発言が兵隊さんの胸を打つ



「針、針を全くゆるがせにしない縫製は、くまでもない」
「女は縫つてゐるのだ」



「いよ／＼検査が終れば、あとは大空にパフと吹く日を持つだけ。兵隊さん何かしらカッとする」

お母さんたちよ

安心して娘さんを職場へお送り下さい

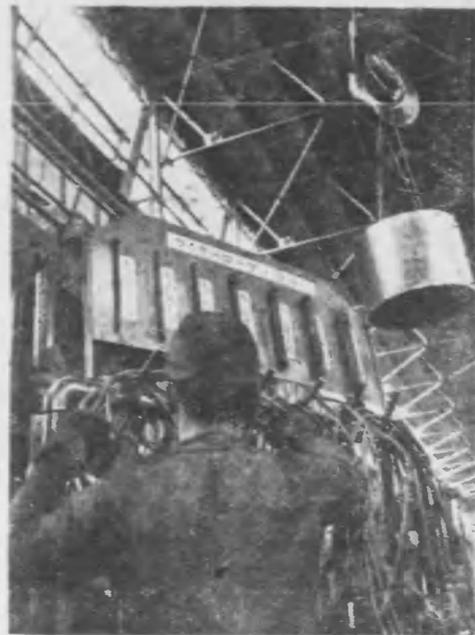
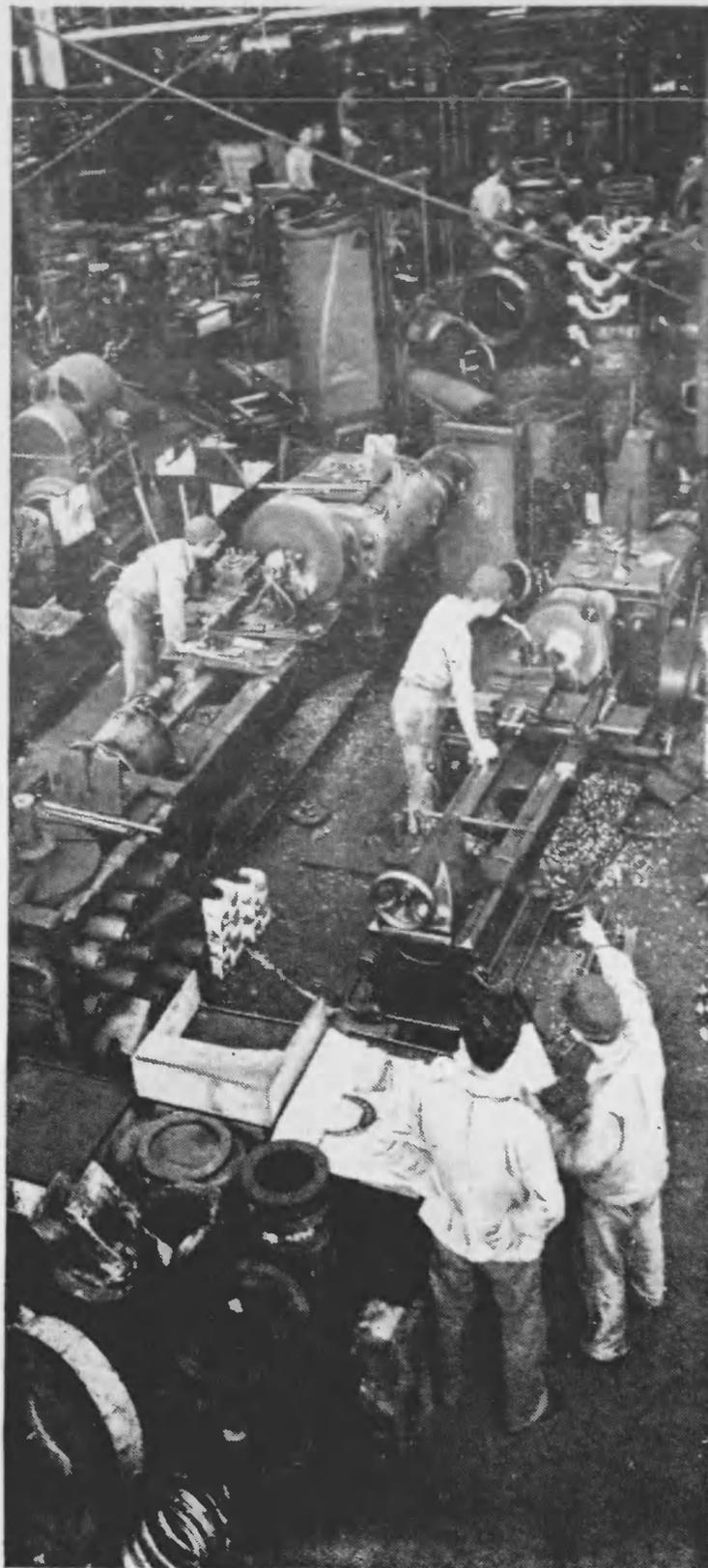
勝ち抜くために女子の戦力が勤務戦線に受持つ役割の重要さは、いまさら説くまでもない。イギリスでは、既に女子の防空隊員が戦艦もいかめしく訓練しながみついで、本土防衛にあつてゐる。また、最近アメリカの海軍統帥部では、新規に五十万の婦人補助隊員の増加を要求してゐるといはれる。敵でさへ、いや、敵は女子に軍務に就くことまでも望んでゐるのである。決戦のいま、『有命令嬢』の名がまだ最後に残つてゐることを、母も、娘も、さらに日本の女性全部が連帯の責任で深く反省し、慚愧する所だと思ふ。

今日は東京市杉並區の的株モトさんと一緒に鎌倉航空工業株式會社を訪れ、女性の職場を十分見學しよう。母も、職場に對するこれまでのやうな姑息な考へを捨て、息子を戦地に送る時の立派な態度、あの態度で娘たちも職場へ、女の職場へ送り出さうではないか。

「寄宿舍は四畳半に三人位の雑居、舎舎の下に長長、あつて全く規則正しい日常が送られる。着脱、和服、華服その他女のたしなみには十分配慮されてゐる」
「寄宿舍の中庭に設けられた清潔な洗濯場、楽しいお手傳ひをしながら、的株さんは時局下の工場といふものをほつき私にも結婚前の娘一人あります。これなら安心して送り出せると思つた」と語つた



撮影 飛田昌哉



労働者はこの困難の中に、然
 練してゐないが、女子、轉業、
 雇用等の新人工員のために、
 積極的な安全作業の指導と職
 場の整頓増進を目標として、安全
 生手推進隊を組織して、防
 安施設の整備から故障し等の
 異常時対応を行ひ、決戦下、
 工場事故の抑止を図つてゐる



労働者は借金を家庭の、さきさき多い、丁度安全な生活を送る
 と工場内の人事相談所が工員の悩みを解決して健康のなまへ

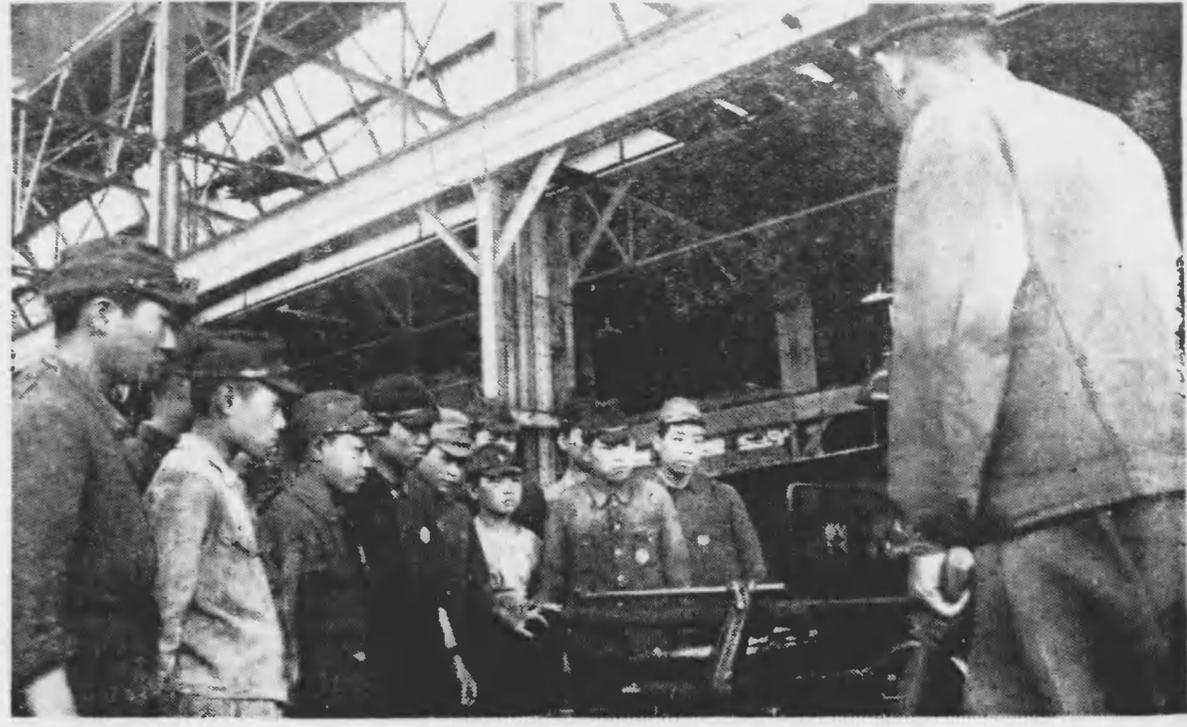


労働者は、健康にして強々振舞の芽にいそしむことを
 安全の朗誦は朝の職場に響き渡る

必勝の生産へ まづ鉄壁の安全

決戦の今年、戦力増強を印
 するものは敵と同じだ。生産陣
 営において、自分一人のちよ
 うとした不注意から、他の工
 員に迷惑をかけた時、事故を
 起して、大切な生産を止める
 事なことが少くともあつて
 は、生産戦の敗北となる。こ
 こに「戦力増強安全強調週間」
 が六月一日から一週間全国に
 行はれる意義がある

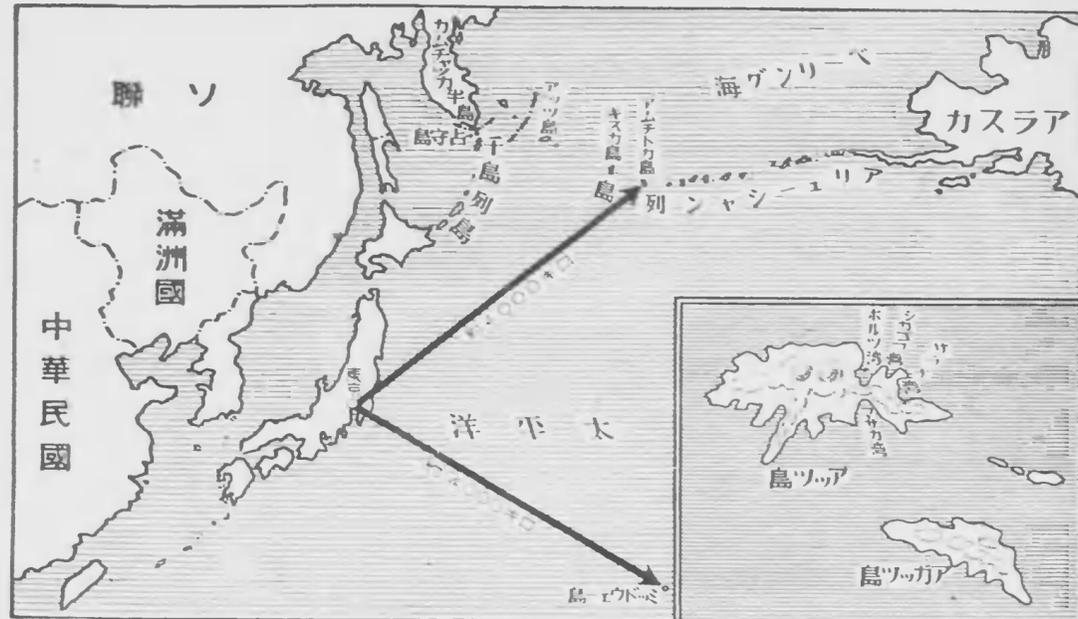
地域、工員の整頓、職場の
 整頓があつてこそ、必勝の生
 産が行はれる。キチンと整頓
 した職場の中で正しい姿勢を
 とつて作業すること、これが
 必勝生産の第一歩である。更
 には高一の空襲時に起り勝ち
 な災害を防ぎ、一機でも一発
 の被害をもく前線へ送らぬ
 はならない



労働者は、自業した、安全な工員を親
 切な先輩工員が責任を持って育ててゆく

近頃は、必勝生産の道である

決戦の秋へ 世界戦局の緊急迫す



開戦以来、敗北に敗北を重ねた敵が、總反攻の年とした今年も、間もなくその前半期を終らうとしてゐる。われわれもまた決戦の年としてこれに備へ、あらゆる努力を戦争に注ぎこむべきである。

獨逸軍司令部の発表によると、戦死五万七千七百七十七名、捕虜七千七百七十七名、戦車破壊七千七百七十七台といふ大きな数字に上つてゐる。さらに獨逸司令部の報告は、

『アフリカ戦線の全作戦を通じて、獨逸軍が最も困難を感じたのは補給の問題であつたが、糧食は不足し、敵から莫大な軍需品を頂戴し、いはゆる糧食に得ることが出来た。アフリカ戦線における二年半の戦戦において、獨逸軍が使用した貨物自動車八割、武器弾薬の四割、輕装甲車の五割、燃料の三割は悉く英軍からの輸送品である』

と聲明してゐるが、米英兩國が決定的勝利と世界に宣傳してゐるいはゆる糧食たる戦果の陰にひそむものは、實にかゝる笑止の沙汰だつたのである。

さらに佛領北阿に上陸した米英軍のために、反糧食軍が補充しようとした多數の兵員と、多量の物資が、これを運んだ船舶もろとも、獨逸の飛行機や潜水艦によつて海底深く葬り去られてゐる。これらを考へ合せると、反糧食軍が北阿であげた成果が決定的なものかどうか、自づと判明するのであるが、獨逸はまた北阿における獨逸軍將兵の決死の奮戦によつて十分時を稼ぐことが出来た。

北阿戦が展開されてゐる間に、獨逸側は互に緊密な連絡をとりつゝ、歐洲の要塞化を急ぎ、北方から西方イペリア半島に達する海岸は勿論、フランス、イタリアの海岸からコルシカ、サルジニア、シシリー、クレタ島などの地中海島嶼に對しても防備を固め、来るべき敵の第二戦線、歐洲本上陸の野望に備へて来たのである。敵側が何んと宣傳しようと、獨逸側の



一級戦車前線 戦線に敵敵

チュニジア作戦終結す

チュニジア作戦は去る五月十三日、獨逸軍がアフリカ部隊の英軍的戦闘はこゝに光榮ある最後を告げた。チュニジア戦線において最後の抵抗を継続してゐる英軍は、過去數日間には、水も食糧もなく、しかも奮戦をつづけたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、糧食軍は敵軍の攻撃に屈伏したのではなく、結局、補給の欠乏によるものである。

『歐洲第二戦線は近づいた。米英軍は歐洲大陸の四方八方から滿の如く上陸するであらう』

などと氣勢を擧げた、イタリアに宣傳攻勢を行つたりしてゐるが、彼等の狙ひは、獨逸軍が不安動搖を起させ、兩國の離間をはかつて、糧食の一角を削ぎ落とすにあると共に、この際、彼等が中立國を切り崩して自らの陣營に引き入れようと血眼になつてゐることは、嚴重に警戒せねばならない。

『ナチス』と『ヒトラー』に對する米英側の宣傳、外交攻勢は相當の活氣を呈してゐる。この兩國がどうなるかは、歐洲の形勢上、重大な關心のあるところであるが、トルコについては五月十日、サラジヨ首相が議會において、『トルコは中立を棄てて非交戰國の立場をとるだらう』と聲明したとの報道もあり、またスペインにおいて五月九日、フランコ統領が世界戦争の和平提起を演説したことなどは、何んとかして戦争介入を避けないといふスペインの態度を、和平提唱といふ形で表明したものとはいへよう。

我々としては敵米英側の工作と併せて、これら中立國の動きに注目すると共に、かゝる中立國が敵側の自動に迷はされぬことを希望せざるにはならぬ。

『ヒトラー』と『ナチス』に對する影響は、米英側の宣傳するほど深刻なものではないにせよ、五月十一日からワシントンで開かれてゐるルーズヴェルト、チャーチル第五回會議では、反糧食側の今後の戦略がいかに協議されたことが推定されるので

さしに屈服したのである。しかしながら、獨逸軍がアフリカ部隊は負けた任務を完全に果した。彼等は數ヶ月にわたる激戦をつづけ、寸地を容易に譲らず、有力な敵軍部隊をアフリカ戦線に釘づけにし、敵軍に對し人員器材兩面にわたる、極めて其大な損害を與へた』と發表、北阿戦局に歴史的な段階が劃された。さき頃から傳へられてゐたチュニシヤ、ビゼルト等からの撤収がこれによつて確認されたことは、われわれ糧食側にとつて決して好ましいことではなかつたが、この發表にもあるやうに、この半年の間、敵大部隊をアフリカの一角にひきつけ、人員と資材の上に大損害を與へ、さらにその間、歐洲防衛の體制を強化し得たことは、チュニシヤ作戦の大きな効果であつたことは明らかである。

殊に反糧食軍の損害が豫想以上に多く、

あるから、歐洲においては獨逸糧食側のこれに處する萬全の準備を期待すると共に、我々自身も、来るべき事態に處する一段の決意を固めてかゝらねばならない。

主戦場をいま直ちに歐洲より太平洋に移動するかどうか、それにはカサブランカ會議などで、從來歐洲第一主義を主張して誤らなかつた英國の立場といふものもあるが、敵側が如何なる企圖に出でようとも、我が方の寧ろ望むところであることは勿論である。たゞ北阿戦局の推移によつて、米英側の兵力や軍需補給力に多少の餘裕が出來、それが太平洋方面に廻り得ることは、常識的にも考へられることであるから、この點、我々としては一層の覺悟が必要である。

殊にワシントン會議の内容に關しては、チャーチルは米議會の演説で、東西同時作戦を示唆して、あくまで歐洲作戦に比重を置かうとしてゐるが、米英論は徹底的に對日攻勢を主張してゐる。またルーズヴェルトはホワイト・ハウスで記者團との會見の席上、いはゆる對日反攻に關して、『今次ワシントン會議は未だ終結に至らないが、東亞における對日攻勢計畫に關しては目下満足に進行中である』とほつきり聲明し、蔣介石にもこれと同趣旨のメッセージを送つて、『日本攻撃計畫は目下着々進行中』と重慶をうれしがらせてゐる。ともかく敵が獨逸軍と並行して『日本軍が現在の占領地を固め、無盡蔵の資源を開發し、もつて絶対不敗の地位を築くことを防がう』と逐次對日進攻を活潑化せんとすることは、火をみるより明らかである。もちろん彼等の空念は、われらにとつては何等の威嚇にもならないが、持つてあるを待たれらの覺悟を一層強固にしな

**食糧増産に
総がかり戦法で**

麦の刈入れに、田植に、甘藷の植付にと、いま農村は農業期の最中である。食糧の国内自給を目ざして、全力を挙げて増産に邁進してゐるのです。これはひとり農村

六月の常會



北に南に、戦局は漸く白兵戦的段階に入りつゝあります。以後にあらわれらの任務も、いさゝかの弛緩をゆるぎません。すべてを拵けてご公事すべき時です。六月の常會は、増産、貯蓄、防空、これを拵いて我等の任務はあります。さあ、力を拵えて戦ひまかせよう。

**國民皆働で食糧増産戦を
二百七十億貯蓄攻略戦を
必勝完璧の防空陣を**

だけに任せて置くべきことではなく、私とも國民が一人のこらげ力を拵えて、真剣になつてかゝらなければ、やり遂げることは困難です。そこでこの大増産を見事にやりとげよう、まづ春の農業期を戦ひ抜くために、大政翼賛會では、農業期國民皆働運動を全国に展開することになりました。

この運動は、大政翼賛會、大日本實業青年團、大日本産業報國會、商業報國會、農業報國聯盟、大日本青少年團、大日本婦人會を實行團體として、(一)今年の米の作付

うな團體の勤務係仕隊のほか、農村出身者が都會で商業に従事してゐる者や、工場、礦山、事務所等に働いてゐる人に、仕事に差支へない程度で、一時農村に歸つて農作に従事できるやうな措置もとることになつてゐます。では、農村に行つてどんなお手伝いをするかといふと、共同炊事、共同託児や田植、麦刈等のうち、誰にでもできる仕事を引受け、熟練を必要とする主作業は農家の人々に専念して貰ふやうにするのです。

なほ、この皆働運動は、どこまでも農村に對する農家の苦心を少しでも農村のお役に立てようといふ精神に出発してゐるのです。かゝる、河卒の報酬も受けてゐるのですから、農家の方も不仕着も、その趣旨を生かすやうにして下さい。鐵道省では、勤務係仕隊の輸送については特に割増割引の取扱をすることになつてゐます。さら、播つて農村へ應援に出掛けようではありませんか。

**二百七十億
貯蓄總進軍だ**

六月は上半期の賞與期です。貯蓄戦にはもつてこの時です。戦勝は熱まりました。この六月十五日から一ヶ月の貯蓄強調期間に、今年目標額の三分の一に當る九十億を是非か非でも攻略して下さい。賞

**防空に必勝
陣を固めよう**

敵のわが本土空襲の準備は、日とともにますます強化され、より大きな飛行機と、より改善された爆弾をもつて行はれることは必然です。萬全の準備をもつて迎へ撃たうではありませんか。大切な人命を、重要な施設を保護するのがわれらの防空任務です。敵の挑んでくるこの白兵戦には、より以上の激しい戦意と完璧の防空陣で當りませう。

興や臨時収入は貯蓄へ、創設と工夫で無駄をなく、副業や内職で貯蓄源を産み出す等、いくらか方法はあるのでせう。十七年度で目標額を突破した府縣はなほ一層の努力を、そして突破できなかつた府縣、山梨、愛知、京都、大阪、兵庫、山口、岡山、愛媛、高知、福岡、長崎、熊本等の諸縣は奮起一掃、前年の黒星をとりかへして下さい。全国一丸、一人の蓄積者もなかく突撃すれば、二百七十億攻略も容易に達せられるのです。

昭和十八年度 國民演劇 脚本募集

映畫、演劇がその正しい機能發揮し、決戦下、日本文化の進展に力強く寄與するためには、優秀なる脚本に俟つところが極めて大きい。今回情報局では、雄渾調達な國民精神を培ひ、もつて聖戦完成に對する國家總力結集の原動力となるやうな創意に満ちた國民映畫、國民演劇の脚本を募集することになつた。

應募規定

隨處なるも、必ず未發表の創作たること(但し映畫の場合は脚本に限る)

映畫脚本は、四百字詰原稿用紙百五十枚以内(但しシナリオ形式に限り)

演劇脚本は、四百字詰原稿用紙五十枚以上、百枚以内。いつれも三枚以内の梗概を附すこと

昭和十八年十月三十一日

東京市朝野町四丁目一ノ一 情報局第四部應募課に國民演劇脚本募集の案内を郵送し、募集の案内を郵送すること

情報局賞(映畫、演劇各一篇) 一篇 金貳千圓

情報局賞(映畫、演劇各一篇) 一篇 金壹千圓

但し、右に規定するものなきものは選考方法を別に定めることとし、(映畫)服島正、伊藤大輔、田坂具隆、牛原康彦、野田高梧、山本嘉次郎

(演劇)岩田豊雄、岡田太郎、久保田万太郎、岸田國士

昭和十九年二月下旬

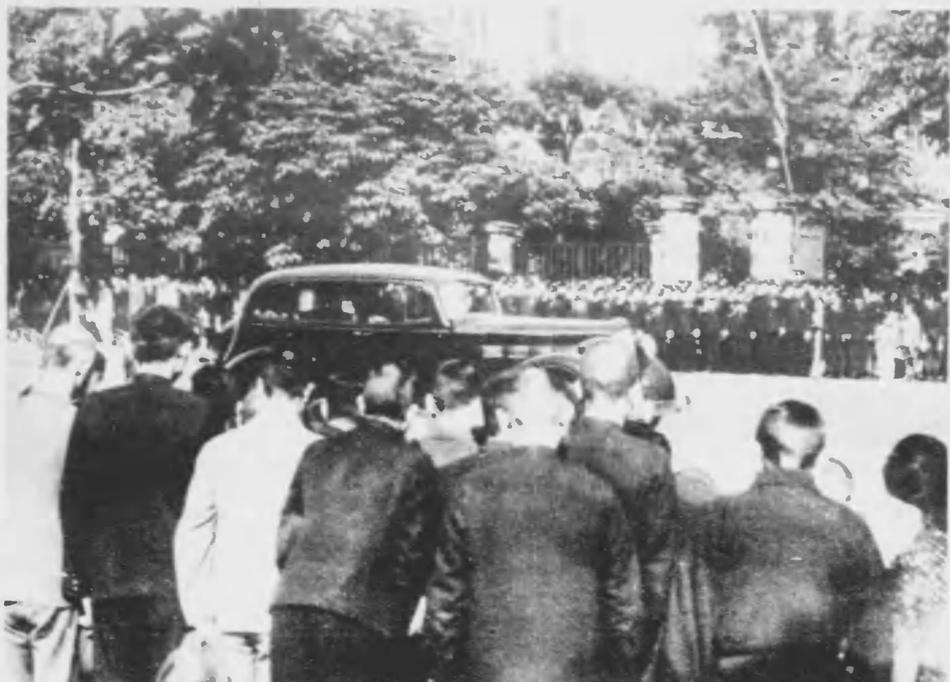
情報局賞(映畫、演劇各一篇) 一篇 金貳千圓

但し、右に規定するものなきものは選考方法を別に定めることとし、(映畫)服島正、伊藤大輔、田坂具隆、牛原康彦、野田高梧、山本嘉次郎

但し、右に規定するものなきものは選考方法を別に定めることとし、(映畫)服島正、伊藤大輔、田坂具隆、牛原康彦、野田高梧、山本嘉次郎

噫 山本五十六元帥





一億 山本元帥の 後につづかん

山本聯合艦隊司令長官は、去る四月前線において、全般作戦を指導中、敵と交戦、飛行機上で壮烈な戦死を遂げた。畏くも、天皇陛下におかせられては、大將多年の偉功を蓋せられ、大勳位功一級に叙せられ、元帥府に列せられ、特に元帥の稱號を賜

正三位に叙せられ、故元帥海軍大將山本五十六に特に國葬を賜ふ旨仰出された。誠に武人として至高の至大の榮譽であると同時に、大御心のほど恐懼感激に堪へないところである。

われらは五月十一日大本営から發表された山本元帥戦死の報に接し、徳を止し、悲歎としてその崇高壯烈なる大精神に觸れて、眼になき痛惜の情を感ず得なかつた。しかし、既に古賀第一大將が元帥の後任として聯合艦隊の指揮を執り、帝國海軍はいさゝかのゆるぎもなく、新司令長官を中心に全將兵の士氣はいよいよ昂まり、一致結束、烈々たる必勝の信念に燃えて、米英撃滅の一途に邁進しつつあることは心強い限りである。

元帥は今次戦争の劈頭、ハワイ、マレー沖、南洋の全域に亘つた雄渾無比なる大海上作戦の指導に當り、帝國の必勝不敗態勢の基礎を確立した殊勳者であつて、海戦史上に不滅の武功を樹てたばかりでなく、古史に永くその英名は輝くことであらう。また元帥の勳功は、この度の戦争において初めて現はれたものでなく、或る時は海軍航空本部長として、無敵の帝國海軍航空部隊の基を築き、また海軍次官として、多難なる國際情勢下に、軍政の要職に身を捧げたのであつた。

敵撃滅の憤激と痛惜の念新たに綴り出す。發喪三日目の五月二十三日、故山本五十六元帥の英靈は帝都に無言の凱旋をした。全世界を驚倒させた「古不滅の武功に輝き、死してもなほ米英撃滅すは止まざる鬼神と化した英魂を迎へて、全國民一億、ひとしく悲憤の涙とともに「われら戦場は山本精神を活かさん」と誓つた。

父元帥の英靈に傾つく英主義正君（水友社にて）上。母旗低く垂れた海軍省前に肅然とお迎へする海軍省職員の前を元帥の英靈を乗せた車は水友社へ向ふ下



しり在帥元 姿英の日



常々英姿

雄渾無比の大作戦を統る山本元帥



〇 言行一致の元帥は、常在戦場といふ句をよく書かれた。

〇 ロンドン會議に使した當時、宿舎に上り、敵を睥睨する元帥の英姿



↑ 僕はこの腕には山本塊が縮つてゐる。さあ、職場で討死するぞ
『増産を以て復讐せん』告示に産業戦士の決意は固い



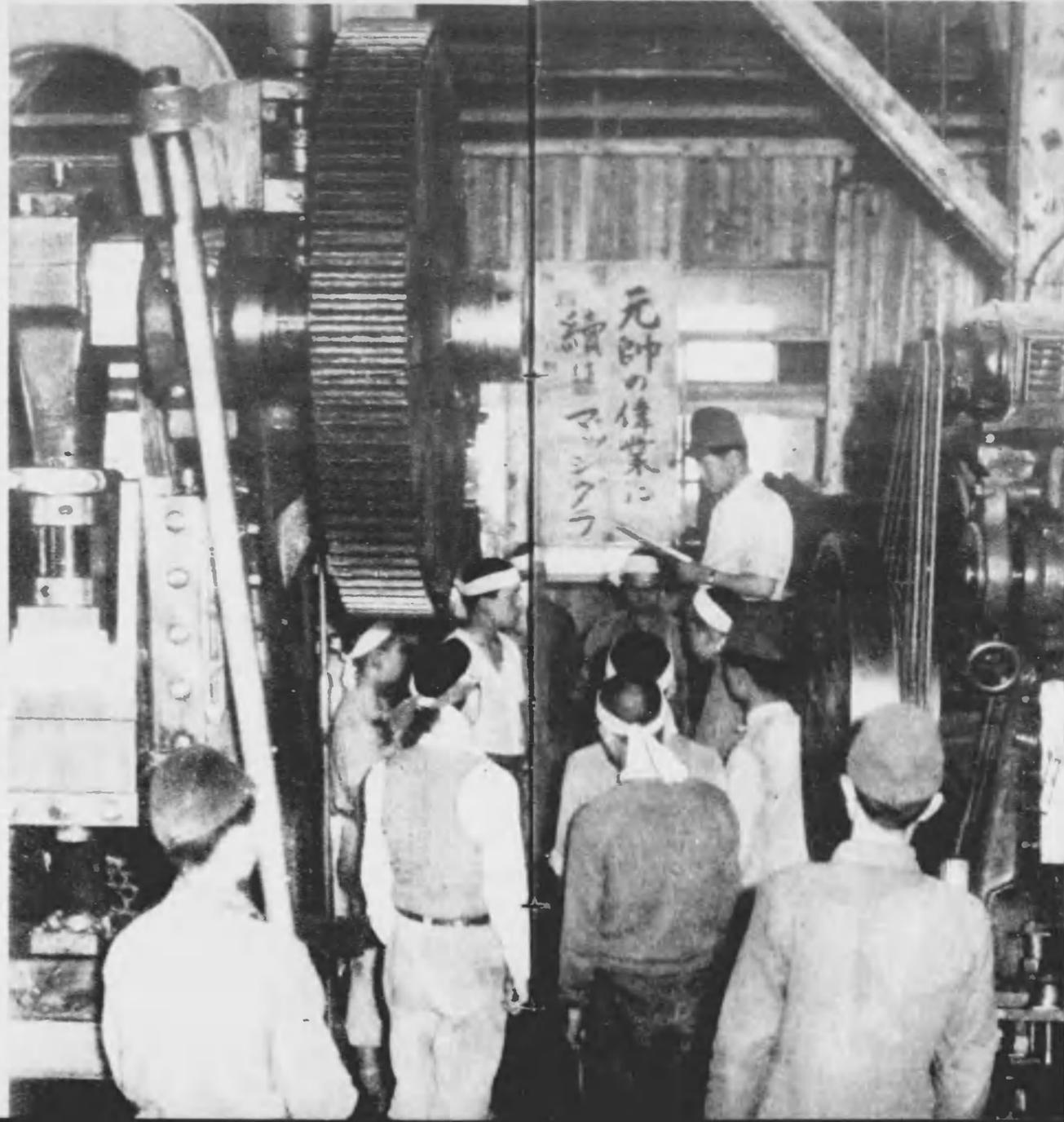
闘志に燃え 去る生産工場

『我等は生産決死隊、海軍よ、我等の造る武器で仇を討つてくれ』



『元帥に続け』運動は火を吐いて討議された。決議は、増産へマッシュグラ

元帥の仇は キツト討つぞ



↑ 『元帥の仇はキツト討つぞ』 技師の職場を守る少女工員も必死の増産だ
英艦返る。二十三日午後二時四十三分、悲痛な悲しみに黙輪を捧げつゝ、『元帥の仇を討つ』決意に燃え立つた
『山本聯合艦隊司令長官戦死』
大本営発表の放送に、東京足立区の平田製作所では當夜直ちに緊急全機座談会が開かれた。意外の悲報に全工員は唇を噛んでうなされた。が、やがて誰の胸にも次第に燃え立つてくるものがあつた。『誰か、仇を仕したのだ』心の底からこみ上げてくる憤りであつた。誰いふもなく、『元帥の仇を討て』となつて爆発した
『元帥に続け』運動の上程となり、山本塊を職場に生かせの研究討議が夜遅くまで続いた
『沈黙の凱旋』を帝都に迎へた



彈丸切手

第十三回
六月一日〜十五日

抽籤 六月二十一日
割増金 一等千圓以下多數
當籤率 十一枚三付一枚ノ割合

抽籤の済んだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお差出しの上、特別据置貯金證書と引換へて下さい。



懸賞募集

郵便貯金と

我が家の生活設計



二百七十億貯蓄を完遂するには、國民の一人一人が決戦段階に即應した生活設計を工夫して、現在より以上の貯蓄をどこから生み出すか、各種の郵便貯金制度をどう活用して行くかを再検討して、一段と堅實に貯蓄を實踐しなければならぬ。その意味で実行性のあるものを御投稿下さい。

制限 字数には制限なきも必ず半紙大原稿紙使用のこと
審査 貯金局・大政翼賛會
賞金 入選 五篇 百圓(國債一枚)宛
佳作 五篇 五十圓(國債一枚)宛
宛先 貯金局規畫課第一奨勵係
締切 昭和十八年七月三十一日
發表 昭和十八年九月一日新聞等にて發表の豫定
その他 住所氏名を明記すること
口書作品に對する一切の権利は貯金局に於て取得す

寫眞週報

(禁轉載)

昭和十八年六月二日印刷發行

情報局

東京市豊田町

印刷局

内閣印刷局

郵政省貯蓄課

定 價

一部十錢

(送料別)

外埠郵送は依り

其の都度郵送料

金より差額を中

受けます

▲特大版の場合は

其の都度郵送料

金より差額を中

受けます

▲特大版の場合は

其の都度郵送料

金より差額を中

受けます

所 達 中	定 價
全國各地官報 販賣所	一部十錢
書店・驛賣店 新聞販賣店 寫眞材料店	(送料別)

本誌を回覧に
本誌は日下新報申込
に際しかねてをりま
すから、隔州や隔場
で回覧するなど出
來るだけ有効に御利
用下さい。

前編期間にも
またお読みになった
ら本誌を前編期間に
送りませう。送料は
内地と同様で帯封あ
る場合は別に送料を
一部一錢です。

内閣印刷局印刷發行

寫眞週報 昭和十八年六月二日印刷發行 郵政省貯蓄課第一奨勵係